

「家庭教育応援隊養成講座」第4回地区研修

東青地区 平成30年9月8日(土)県総合社会教育センター 受講者数12名

三八地区 平成30年9月21日(金)八戸市総合福祉会館 受講者数25名

第4回地区研修では、両会場ともに、翌月からの実践する「子育てサロンの企画・運営について」、それぞれ地域で活躍されている方々を講師にお招きし、講義演習形式で行いました。子育てサロンが初めての受講者にとっては、いろいろな話が新鮮であり意欲的に、また、子育てサロンの経験者にとっては、交流を通してスキルアップの場になりました。

《第4回東青地区研修》9/8(土)

1 講義・演習「子育てサロンの企画・運営について」

講師：特定非営利活動法人子育て応援隊ココネットあおもり

副代表 久保田 正美 氏

支援者として10月からサロン運営をする受講者にとって、青森市役所駅前庁舎2階の青森市つどいの広場「さんぼぼ」での統括リーダーとしての体験談や子育てサロンの実演を通して、頭で考えるだけではなく、肌で感じながら参加する親子に対応することの大切さなどを教えていただきました。また、「リラックスして来てもらえるような雰囲気づくり」という、支援者として大切な心構えを再確認しました。



講師の久保田正美氏

(1) 子育ての困りごと・悩みについて

【10月班】すぐ怒る、共働きのため子どもの話を聞けない。

【11月班】ママ友が欲しい、イヤイヤ期の過ごし方など。

【12月班】夫婦・友人・自分・家事関係の改善など。

(2) どの部分の応援ができるか（解決につながるような子育てサロン運営）

【10月班】親子への**遊びの提案**

【11月班】話を聞いて、**共感・傾聴**すること

【12月班】クリスマスツリーを作りながら**参加者同士の情報交換**

(3) 各月の実施計画書の作成でのポイント

①**集客のための**ミニイベントの工夫 ②**目的がぶれない**ように計画を立てること ③参加者から、**話を聞く場面**を設定すること

(4) 支援者・参加者・観察者に分かれてのロールプレイング



東青地区研修の様子

2 受講者の感想

・子育てサロンの目的やどんな応援ができるのかなど大変勉強になりました。また、実演で実際やってみて分かったこともあり、参考になりました。

・今回は傾聴と笑顔が大切！ということを改めて感じました。いつでも『ようこそ』という気持ちでお出迎えできるような気持ちでいようと思います。

・全ては育児軽減・お母さんが元気になるため！がとても心に響きました。



ロールプレイングの様子

《第4回三八地区研修》9/21(金)

1 講義・演習「子育てサロンの企画・運営について」

講師：特定非営利活動法人はちのへ未来ネット 代表理事 平間 恵美 氏

まず、平間氏から手作り絵本での自己紹介の後、受講者が一斉に平間氏の手話に合わせて「世界中の子ども達が」を踊り、元気なスタートとなりました。次に、「はちのへ未来ネット」及び「こどもはっち」で、『子どもと親が希望と安心感を持って幸せに暮らせる地域づくり』を目指し、これまで取り組んできた様々な実践内容や「お母さん達のニーズが何なのか、見つけようとする姿勢が大切」ということについてお話していただきました。最後に、午後の演習では、各班が提案したサロン運営について、支援の仕方や準備物等、即実践に結びつくように具体的な助言をいただき、来月からのサロン運営に向けて受講者は意欲的に取り組みました。



講師の平間恵美氏

- (1) 子育てサロンの内容は「**繰り返し**」が大切。子ども達は、毎回違う内容は求めていない。
- (2) チームのスタッフが**それぞれの力を発揮**すること。**スタッフの動き**を確認すること。
- (3) 「食育」や「踊り・歌」等、**いろいろな子育てサロン**があった方がいい。
- (4) 時には疲れることもあるけれども、**子ども達からエネルギーをもらって、ひたすらやる**。
- (5) 「**臨機応変**」に対応する。
- (6) **笑顔で、良い雰囲気づくり**を大切にする。

2 受講者の感想

- ・運営する人が「見ようとするれば何でも見える」（何かを見ようとするのが大切）との言葉が印象に残りました。お母さん達のニーズが何なのか、見つけようとする姿勢が、まずは重要なのだと感じました。
- ・長いスパンで子どもを見守ることができるのは地域であり、それをつなげるのは支援者である。子育てサロンの意味をもう一度ゆっくりと思い巡らせてみたいと思いました。
- ・一見「楽しく、息抜きの場」であるサロンが大きな悩みを持つ人を助けることにつながっていることを認識しました。
- ・子育てサロンを実施するにあたっての計画をする中で、様々な方面から集まり受講している人たちのいろんな得意分野を持ち寄り、内容の濃い話し合いができました。
- ・班の中に男性の方もいて、そもそも子育てサロンは必要あるのか？と言う問いに、男性目線の率直な考えを聞くことができ、大変貴重な意見でした。
- ・「子育てサロン」名前は聞いたことがありましたが、まわりの方々にそんなに構えることはないんだよと声をかけてもらい、少しは安心しました。お母さん達がやりたいことに少しでも力を貸すことができるようになりたいと思います。
- ・すべては人と人の寄り添い方・・・人はその人の役割がある。決して一人ではなく仲間と・・・良い言葉だと思いました。今の学びに感謝です。
- ・いつもやっている子育てサロンもマンネリの部分が多々あって、進化させる努力を怠っているなぁと身の縮む思いで聞きました。



三八地区研修の様子